

令和5年度東山区地域保健推進協議会意見集約

書面審議期間 令和5年10月27日～同年11月21日

1 令和5年度東山区保健福祉センターの取組について

- 成人・妊婦歯科相談において、令和4年度は相談・参加者数を増やすための工夫をしたと聞いたが、乳幼児歯科相談でも参加者増のための工夫ができないか。
- 新型コロナ5類移行に伴い、健康教室、食育セミナー、歯科保健など、参加者の増加があったことは、担当者の尽力のおかげ。
- がん検診の受診者数や母子保健手帳の交付件数が減少したのは、東山区の人口減少によるものか。対象者の減少があるのであれば、がん検診や乳幼児健康診査の受診率を100%に近づける方策が必要になってくると思う。
- 健康長寿レシピの配布が喜ばれている。
- 今年に入ってコロナ以前の事業が徐々に戻りつつある中、より一層区民の健康づくりを頑張っていたきたい。

2 その他

- 献血の協力者が増えており、ありがたい。
- 来年度以降、インバウンドなどの影響もあり、感染症の流行などが引き続き心配だが、今後も地域保健推進をお願いしたい。
- 幅広い年齢層への取組や災害対応など、大変だが期待している。
- オーバードーズ（市販薬の過剰摂取）も深刻な問題。防煙セミナーなどに関連付けて取り上げてもらいたい。
- 昨年度の死亡原因で老衰が増加しているようだが、フレイルの進行が主原因ではないかと思う。
- 東山区においても高齢者が多い。一人住まいの方に対して、月に一度は家庭訪問を行い、健康状態を確認するのはいかがか。